

I 第44週の発生動向 (2015/10/26~11/1)

1. 手足口病については、弘前保健所、上十三保健所及びむつ保健所管内で**警報**が継続しています。
2. RSウイルス感染症については、患者報告数が前週の43人から75人に増加しました。今後の発生動向に注意が必要です。
3. 感染性胃腸炎については、患者報告数が前週の146人から129人に減少しました。

II 第44週五類感染症定点把握

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

疾患名	東青 (東地方保健所・青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (八戸保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの増減	
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		
	小児科 内科															
インフルエンザ															0	
小児科	RSウイルス感染症	14	1.75	26	2.89	5	0.50	19	3.80	7	1.17	4	1.00	75	1.79	32
	咽頭結膜熱	3	0.38	2	0.22	7	0.70	1	0.20	1	0.17			14	0.33	7
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4	0.50	9	1.00	14	1.40	22	4.40	4	0.67	1	0.25	54	1.29	8
	感染性胃腸炎	34	4.25	23	2.56	29	2.90	3	0.60	27	4.50	13	3.25	129	3.07	-17
	水痘	3	0.38	1	0.11	2	0.20	1	0.20	1	0.17	7	1.75	15	0.36	5
	手足口病	4	0.50	21	2.33	12	1.20	6	1.20	17	2.83	51	12.75	111	2.64	15
	伝染性紅斑			2	0.22	2	0.20	1	0.20	2	0.33			7	0.17	4
	突発性発しん	6	0.75	6	0.67	9	0.90			1	0.17			22	0.52	3
	百日咳															-1
	ヘルパンギーナ	1	0.13	1	0.11	7	0.70	1	0.20					10	0.24	-4
流行性耳下腺炎	6	0.75							3	0.50	1	0.25	10	0.24	-5	
眼科	急性出血性結膜炎															0
	流行性角結膜炎	6	3.00			3	1.50							9	0.82	3
基幹	クラミジア肺炎															0
	細菌性髄膜炎															-1
	マイコプラズマ肺炎					1	1.00					4	4.00	5	0.83	-1
	無菌性髄膜炎															0
感染性胃腸炎(ロタウイルス)															0	

は警報、は注意報。「空欄」:患者発生無し。

III 全数把握疾患(掲載数は最新情報)

- ・結核(二類全数把握疾患):東地方+青森市1人、弘前2人、八戸1人、五所川原1人、むつ1人(2015年計:251人)

IV 病原体検出情報 検出情報はありませんでした。

感染症の窓

インフルエンザ

流行前のワクチン接種が有効です!

インフルエンザはインフルエンザウイルスの感染による急性気道感染症です。日本では、例年12月~3月頃に流行します。現在国内で流行しているインフルエンザウイルスは、A(H1N1)亜型とA(H3N2)亜型、B型の3種類です。なお、青森県では、昨年は第44週(10月下旬)から発生が報告されました。今年も流行に備え、注意が必要な時期に入りました。

典型的なインフルエンザの臨床症状は、ウイルスの感染を受けてから1日~3日間ほどの潜伏期間後、発熱(通常38℃以上の高熱)、頭痛、全身倦怠感、筋肉痛・関節痛などが突然現れ、鼻汁などの上気道炎症状がこれに続き、約1週間の経過で軽快します。しかし、子どもではまれに急性脳症を、高齢者や免疫力の低下している人では肺炎を伴う等、重症になることがあります。

予防方法として、流行前のワクチン接種、飛沫感染対策としての咳エチケット・マスクの着用、外出後の手洗い・アルコール製剤による手指衛生、適度な湿度の保持(50~60%)、十分な休養とバランスのとれた栄養摂取、人混みや繁華街への外出を避けることが挙げられます。このうちワクチン接種については、感染後に発病する可能性を低減させる効果があり、また、重症化防止に有効であると報告されています。ワクチンの予防効果が期待できるのは接種した2週間後から5ヶ月程度までですので、流行前の早めの接種が重要です。

インフルエンザにかかった場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

【参考】厚生労働省 HP、国立感染症研究所 HP

V 保健所管内別全数把握疾患発生状況（2015年第34週～2015年第44週）

週	期間	東青 (東地方保健所・青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (八戸保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
34	H27.8.17 ~ H27.8.23	アメーバ赤痢1人			レジオネラ症1人		
35	H27.8.24 ~ H27.8.30	腸管出血性大腸菌感染症2人 劇症型溶血性レンサ球菌感染症1人	侵襲性肺炎球菌感染症1人	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1人			
36	H27.8.31 ~ H27.9.6	アメーバ赤痢1人 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1人		アメーバ赤痢1人			
37	H27.9.7 ~ H27.9.13	腸管出血性大腸菌感染症1人 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1人 劇症型溶血性レンサ球菌感染症1人					
38	H27.9.14 ~ H27.9.20	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症2人					
39	H27.9.21 ~ H27.9.27	腸管出血性大腸菌感染症1人					
40	H27.9.28 ~ H27.10.4		腸管出血性大腸菌感染症1人				
41	H27.10.5 ~ H27.10.11			梅毒1人			アメーバ赤痢1人
42	H27.10.12 ~ H27.10.18	侵襲性肺炎球菌感染症1人		腸管出血性大腸菌感染症1人			
43	H27.10.19 ~ H27.10.25						
44	H27.10.26 ~ H27.11.1						

VI 結核(二類全数把握疾患) (2015年第34週～2015年第44週)

単位：人

週	期間	東青 (東地方保健所・青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (八戸保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
34	H27.8.17 ~ H27.8.23	3	1	1	1	1	
35	H27.8.24 ~ H27.8.30	1		3		2	
36	H27.8.31 ~ H27.9.6	3	1	1		1	
37	H27.9.7 ~ H27.9.13	2	3	3		1	
38	H27.9.14 ~ H27.9.20		1		1	1	
39	H27.9.21 ~ H27.9.27	2		1			1
40	H27.9.28 ~ H27.10.4	3	2	4		1	
41	H27.10.5 ~ H27.10.11	1	1	3		2	
42	H27.10.12 ~ H27.10.18				1	1	
43	H27.10.19 ~ H27.10.25	2					
44	H27.10.26 ~ H27.11.1	1	2	1	1		1

VII 全数把握疾患発生状況(全国-青森県)

(注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています)

全国

(2015年第1週～第42週累計)

分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス症	オウム病	回帰熱	コクシジオリチス症	重症熱性血小板減少症候群	チングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	日本脳炎	ブルセラ症	マラリア	野兔病	ライム病	類鼻疽
累積報告数	19113	4	132	3210	28	27	151	209	12	5	3	2	52	14	83	245	166	1	4	38	2	8	1
分類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルトヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザウイルス感染症	侵襲性髄膜炎	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘(入院例)	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	パノマイシン耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネバクター菌感染症	
累積報告数	1303	21	871	197	1305	401	12	146	340	1116	65	188	26	1767	238	1967	94	92	50	144	29	25	

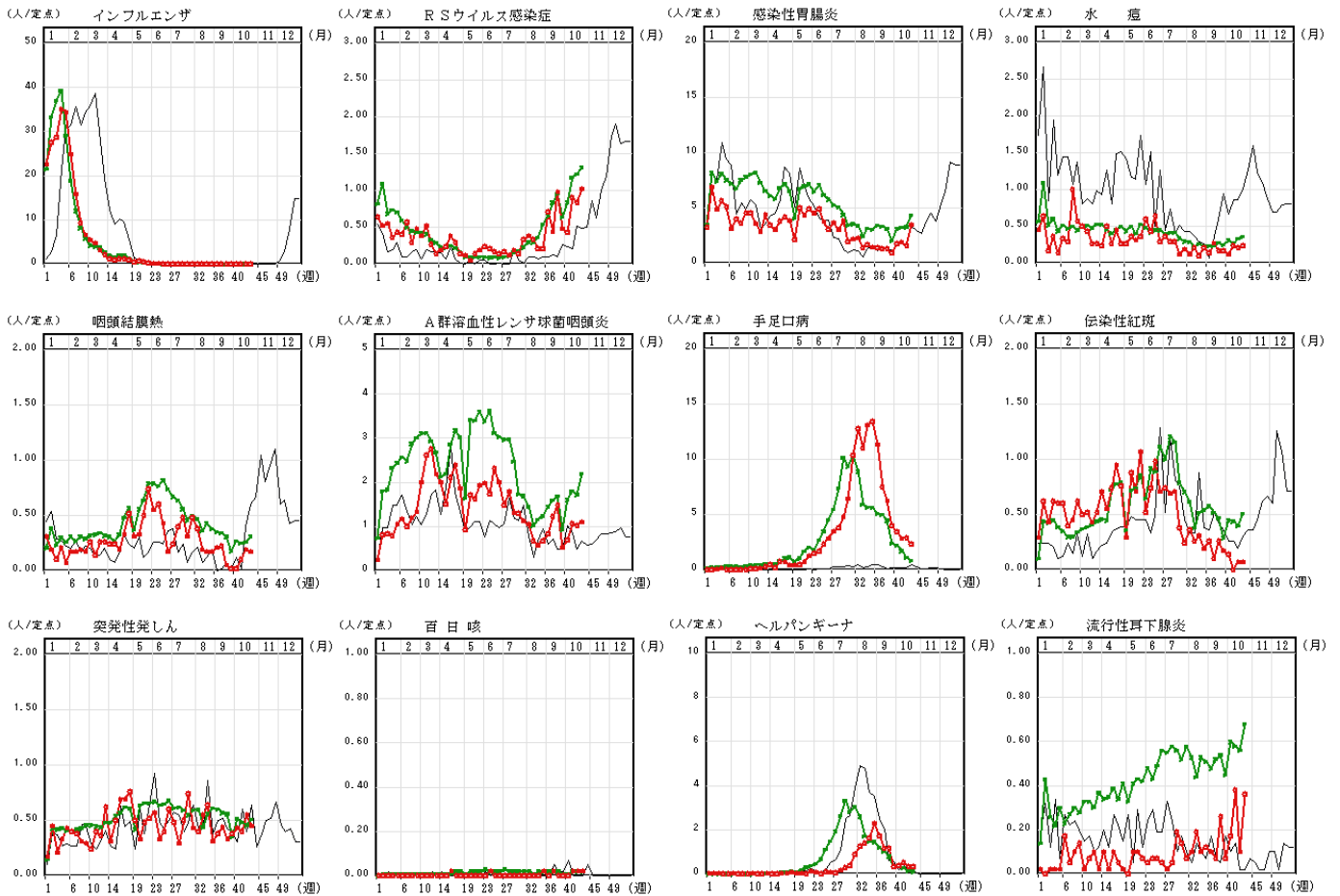
青森県

(2015年第1週～第44週累計)

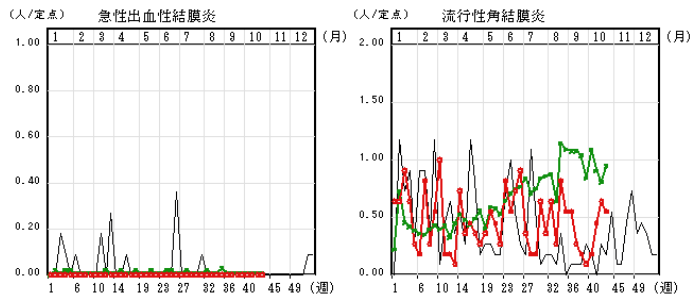
分類	二類	三類	三類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類		
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	細菌性赤痢	つつが虫病	レジオネラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性脳炎	クロイツフェルトヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザウイルス感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘(入院例)	梅毒	破傷風						
累積報告数	251	47	1	8	2	10	1	16	2	1	2	2	2	2	2	15	2	6	1				

VIII インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移 (2015年第43週)

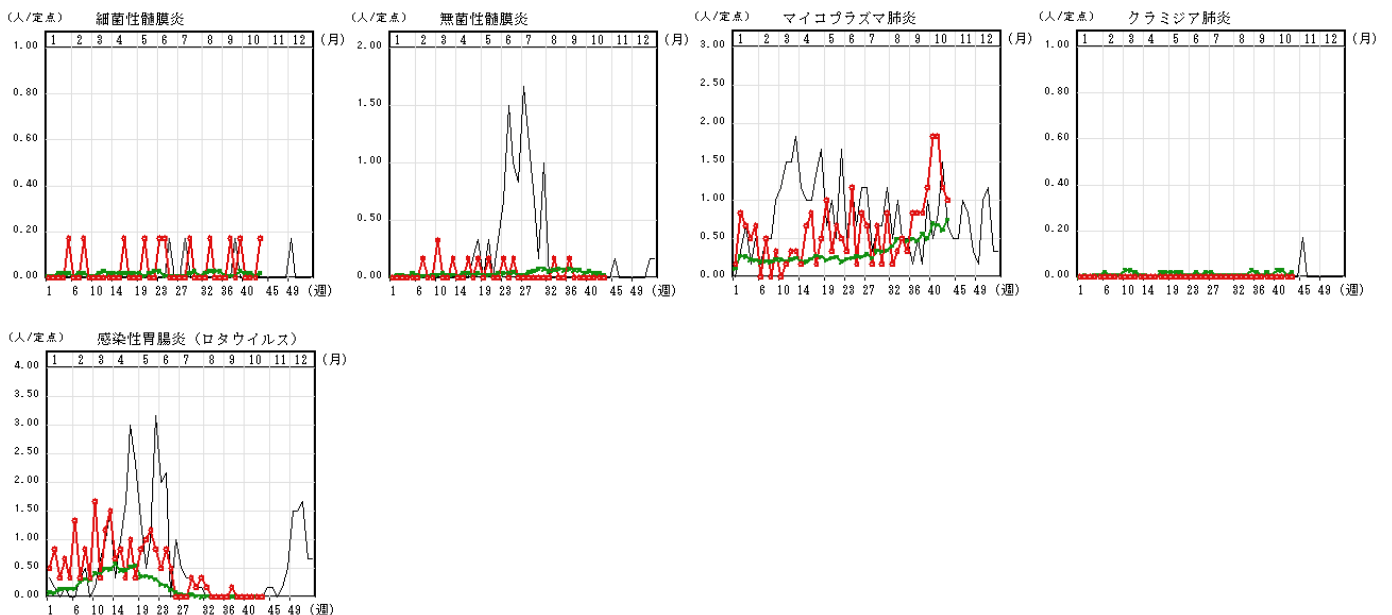
グラフの説明 ○—○は2015年青森県、——は2014年青森県、×—×は2015年全国



IX 眼科定点把握疾患週別推移 (2015年第43週)



X 基幹定点把握疾患週別推移 (2015年第43週)



XI 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成17年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

平成27年第44週

報告週 (第1報)	施設種別	発症者数	管轄保健所
第44週	児童・婦人関係施設等	29	弘前保健所

平成27年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	計 (施設別)
		1-4週	5-8週	9-13週	14-17週	18-22週	23-26週	27-30週	31-35週	36-39週	40-43週	44週	
介護・老人福祉関係施設	件数	7	5	1	0	2	0	0	0	0	0	0	15
	発症者数	107	94	47	0	27	0	0	0	0	0	0	275
児童・婦人関係施設等	件数	3	0	1	1	0	1	1	0	0	1	1	9
	発症者数	61	0	5	19	0	14	28	0	0	19	29	175
障害関係施設	件数	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2
	発症者数	0	0	10	0	0	16	0	0	0	0	0	26
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計(月別)	件数	10	5	3	1	2	2	1	0	0	1	1	26
	発症者数	168	94	62	19	27	30	28	0	0	19	29	476